

告 辞

本日、ここにご来賓の皆さま、保護者の皆さまのご列席をいただき、大分工業高等専門学校 本科第五十五回卒業式並びに専攻科第十八回修了式を挙げて、誠に喜ばしいことと存じます。まもなく令和四年度には開校六〇年目を迎えようとしている大分高専に対して、本日もご列席の皆様から平素より賜っておりますご指導、ご支援に厚く御礼を申し上げます。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況に鑑み、出席者人数を制限し、式典時間を短縮するとともに、感染防止の様々な対策を講じて、式典を挙げることでございました。会場での出席者数を制限しましたため、本日の式典を学内のレクチャーホールでライブ配信を視聴いただいている保護者の皆様には、特にご不便をおかけしています。例年とは異なる式典となりましたことをご容赦頂くとともに、皆様のご理解とご協力に対しまして、心より御礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書とともに準学士の称号を授与されました本科卒業生百四十七名の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。中学校を卒業したばかりだった皆さんは、期待と一抹の不安を抱えて高専生活をスタートさせたのではないかと思います。そして、今日まで、学生一人ひとりが強い意志をもって、勉学や様々な課外活動をやり遂げたことを誇らしく思います。

専攻科でさらに二年間の専門性の高い教育研究を続けられた二十七名の修了生の皆さん。専攻科の修了証書とともに、大学卒業と同等の学士（工学）の学位が授与され、加えて、国際的な教育水準を認定する日本技術者教育認定機構 JABEE 認定の「システムデザイン工学プログラム」の修了証を取得されました。本科と合わせて七年間の勉学の継続が実を結び、ここに新たな旅立ちの日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

また、卒業生・修了生の皆さんを、入学以来今日まで支え、励まして来られた保護者・ご家族の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。今、成長されたご子息、ご息女の晴れ姿に万感の思いでご臨席戴いていることと存じます。

卒業生・修了生の皆さんの在学中は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、リモート授業が始まり、様々な学校行事も中止や縮小開催となるなど大きな変化があり、心身ともにストレスを感じたのではないのでしょうか。この困難を乗り越えた体験は、皆さん方を一段と成長させたと信じています。

本校の学習・教育目標は技術者が培うべき資質や能力を明示したもので、皆さん全員が確実に身につけています。大分高専卒業生・修了生としての誇りと自信を持ってください。その資質や能力は、これからの新たな環境における皆さん方の基礎となるものです。その中でも、特に強調したいのは、「愛の精神」です。本校正門のモニュメントにも刻まれています。この言葉は、本校の初代校長である松尾春雄先生が「AMOR OMNIA VINCIT」（アモール・オムニア・ビンキット）愛は全てに打ち勝つというカール・ヒルティの言葉とともに提唱され、本校で60年間脈々と培ってきた「大分高専の魂」とも申すべき言葉であり、本校卒業生の「合言葉」になっています。世界の平和、安寧な人類の暮らしに貢献できる社会人となりうるために、これまでの基礎を土台として、これからは皆さんが自分自身の「愛の精神」で肉付けをする番です。

もう一つ、私自身が大切にしている言葉を皆さんに伝えたいと思います。それは、「永遠に生きるかのように学び、明日死ぬかのように生きる」という言葉です。前回の冬季平昌オリンピックのスピードスケート 500mで金メダルを獲得した小平奈緒選手が、自身の技術力を高めるための様々なトレーニングにチャレンジする際に、心に留めていた言葉です。もとは、インド独立の父と言われるマハトマ・ガンジーの名言です。この言葉は「ものづくり」にも当てはまると私は考えています。「ものづくり」に大切なことは、技術力と行動力です。皆さんには、技術者として生涯にわたり知識と技術をアップデートしていく努力を弛まずして欲しいと思います。

科学技術の進展が著しい今日、情報化が進み、生活の利便性も向上する一方で、地球規模での環境問題やエネルギー問題などが喫緊の課題として認識されています。2015年9月の国連サミットで採択された、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標になっています。2030年を達成年限とし、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」、「気候変動に具体的な対策を」などの17の目標で構成されています。日本だけでなく世界中の多くの企業が、このSDGsを意識した企業戦略・経営を進めています。皆さん方が進む「ものづくり」の道においても、方向性などを決める重要な指標になると思います。皆さんが自身の技術力を、「永遠に生きるかのように学び、明日死ぬかのように生きる」ように磨き続け、「愛の精神」を持ち、世界の平和と人類の幸福に貢献することを願っています。

さて、本日の卒業式・修了式は、皆さん方の新たな旅立ちのスタートラインでもあり、大分高専はこれからも皆さん方を応援しています。ときには、先生方に近況を伝えたり、また課題などを相談したりして、母校を訪問してくれること

を願っています。そして、皆さんと大分高専との連携を今後も強めたいと思います。大分高専を巣立っていく皆さんの進む道が、希望と発展の光輝く道となることを祈り、本日の告辞といたします。

令和四年三月十八日

独立行政法人国立高等専門学校機構
大分工業高等専門学校長 山口 利幸